
無欲で貪欲な純粹無垢な女

金魚草

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

無欲で貪欲な純粹無垢な女

【コード】

N0581U

【作者名】

金魚草

【あらすじ】

ある日のある男女のデートの話です。

「君は本当に無欲だね。彼女達とは大違いだ。」

隣に並んでいる男は向こうで男に媚びて何か高価な物をねだっている女たちに軽蔑の眼差しを向けながら言った。

「そんなことないわ。」

と女は微笑んだ。と同時に心の中で自嘲した。

「そんなことあるだろう。」男がにこやかに言う。

女は首を振りながら言う。「私にだって欲しいものくらいあるもの。」

「へえ。何が欲しいんだい？」

少し驚いたように男が聞く。

（幸せ。幸せになりたい。）そう女は心の中で答える。

「さあ。なんででしょう？」悪戯ぽく笑いながら女は本心を口に出さなかった。

「なんだよ。やっぱりないんだろう。やっぱり君は無欲な人だ。」

そう言いながら2人でまた歩き続ける。

男が知り合いと話をしている間、女は感じた。

自分は誰よりも欲深いと。さっき男が軽蔑の眼差しを向けたあの女達よりもずっと欲深いのだと。

何故なら、自分は彼女達のように一つの物を欲したのではなく、すべてを欲したからだ。幸せにしてくれる物、人、世界、すべてを欲したのだ。

女は男を見つめながら呟いた。

「あなたはいつ気が付くのかしらね。」

私が、あなたが軽蔑した女達とは比べものにならないくらい貪欲である。

男は視線に気が付いたようだ。小走りしながら声をかけてくる。

「お待たせ。待った？」

その時女は笑った。誰もがはっとするような顔で。

「私、幸せになりたい」

そう言った女の顔は誰よりも純粹で無垢な表情をしていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0581u/>

無欲で貪欲な純粹無垢な女

2011年10月9日07時29分発行